

衆議院議員 神奈川6区(保土ヶ谷区・旭区)

# 古川なおき 第167号 レポート



2024年12月1日発行

## 総務大臣政務官に就任しました ～地方自治26年の経験を活かして～

皆様お元気ですか。

このたび、第二次石破内閣の発足に伴い、総務大臣政務官を拝命いたしました。

「大臣政務官」とは、大臣・副大臣とともに「政務三役」とよばれ、各省庁において大臣や副大臣をサポートしながら、政治主導での意思決定や政策遂行することを目的として2001年に導入された制度です。

三権分立は立法・行政・司法のことですが、議院内閣制では、これまで国会議員という立法府の者が大臣政務官に任命されると行政府の立場でも働くこととなります。私は総務省の大臣政務官として、地方行政、地方財政、地方税制、消防行政等を担当いたします。26歳から7期26年、横浜市会議員として地方政治に携わってきた身として、今回総務省で地方自治全般を担当する大臣政務官に任命されたことに、責任とやりがいを感じております。横浜や川崎、相模原などの指定都市のあり方や47都道府県と1718市町村と地方議会の発展に寄与できるよう、総務省の立場からしっかりと取り組みたいと思います。

消防行政では、首都直下地震や南海トラフ地震などの大震災が予想される現在、それらに備える意味でも、消防力の強化とともに日本が誇る制度である「消防団」をより発展させていきたいと考えています。

消防団は地域住民による組織で、火事や災害時に活動します。全国の市町村に消防団があるのは日本だけであり、住民の安全・安心を担う中核的な役割を担っています。日本の消防団員は特別職の地方公務員として活動しています。しかし高齢化や人口減少などを理由に全国で減少しており、



首相官邸ホームページより

昭和20年代には全国で200万人を越えていましたが、平成2年度には100万人を割り込み、令和4年度は78万人余りとなっています。地域の防災・減災をめざして、国も様々な政策に一層取り組んでいきますが、草の根に根付いた日本が世界に誇るべき国民的組織「消防団」を維持・発展できるように取り組んでまいります。

この度の第二次石破内閣で、大臣政務官は28名任命されました。私もその一人として、この国の発展のため、そして地方再生のため、石破内閣の総務大臣政務官として、微力ながら全身全霊で働いてまいります。

衆議院議員 古川直季 



# 総務省はこんなところです



総務省は2001年の中央省庁改革によって、旧自治省・郵政省・総務庁の3省庁が統合してできた官庁です。職員は約4800人。令和6年度一般会計当初予算全体の約112兆700億円のうち、総務省所管予算は約18兆2100億円です。行政運営の改善、地方行財政、選挙、消防防災、情報通信、郵政行政など、国家の基本的仕組みに関わる諸制度、国民の経済・社会活動を支える基本的システムを所管し、国民生活の基盤に関わる行政機能を担う省です。「財務」省や「外務」省、「文部科学」省などと異なり、「総務」省はその名称から業務内容を推察することが難しいとよく言われます。

総務省の管轄範囲は極めて広く、「地方自治、地方公務員制度、選挙、政治資金、情報通信、郵便、統計、消防」など国家の基本的な仕組みに関わる諸制度、国民の政治活動・経済活動・社会活動を支える基本的なシステム等を所管しています。

総務大臣1名、総務副大臣2名、そして私を含む総務大臣政務官3名が「政務三役」といわれます。これに総務事務次官1名と総務審議官3名を加えて総務省の幹部が構成されています。

## 総務省の主な所管業務をご紹介します

### ○地方自治

総務省は地方自治制度を担当します。地方自治体の財政システムを考え、住民が適切な行政サービスを受けられるよう調整するのも、総務省の仕事です。

### ○消防

消防庁は、日本の消防行政の企画・立案、各種法令・基準を策定する総務省の外局です。

### ○行政評価

総務省が各省庁の仕事内容を調査し、課題や問題点を実証的かつ総合的に把握・分析し、改善方策の提示等を行っています。このほか各府有の政策評価の点検等により、政府における政策評価の的確な実施を推進しています。

### ○選挙管理

選挙制度の運営を担当するのも総務省の仕事。公正な選挙の管理執行に携わります。

### ○通信等事業

携帯電話やインターネット、テレビ等にかかわる、通信ネットワークの整備、ルールの策定等を行ないます。また郵便事業の推進や信書便事業の監督なども行います。NHKの適正な運営や他の放送事業についても監督します。

### ○統計

日本の各種政策を決定するにあたりその基本となる国の重要な統計調査の企画・立案及び実施を行います。例えば国勢調査を実施します。

### ○その他

他にも、恩給や行政書士に関することなども行っており、さまざまな国民生活の中に総務省の行政サービスが関わっていると云えます。「くらしの中に総務省」というキャッチフレーズが端的に表しているように、業務が多岐に渡りすぎているため、総務省の仕事ぶりは広く、正確に国民に認知されているとは言い難いのが現状です。



今後とも、総務大臣政務官としての担当分野である地方行政、地方財政、地方税制、消防行政等だけでなく、さまざまな活動を通じて、総務省が我が国のために担う、多岐に渡る重要な役割を国民各層、何よりも神奈川6区の皆様にお伝えしていきたいと思っています。宜しくお願い致します。

↓総務省HPでも活動の様子を見ることができます  
[https://www.soumu.go.jp/photo\\_gallery/index.html](https://www.soumu.go.jp/photo_gallery/index.html)

## 古川なおきプロフィール

- ・1968年8月31日「野菜の日」生まれ
- ・希望ヶ丘高校、明治大学政治経済学部卒業、明治大学公共政策大学院修了
- ・1995年横浜銀行、議員秘書を経て、横浜市議員 26歳最年少当選（7期26年）  
 市議員時代は行政改革に取り組み、日産スタジアムのネーミングライツ、横浜市コールセンターを設立。  
 相鉄線とJR・東急の直通運転やポケモン社と横浜市の連携に寄与する。**ポケモンGOはレベル39。**
- ・2021年衆議院議員総選挙神奈川6区（保土ヶ谷区・旭区）より 92,405票で小選挙区当選
- ・2024年衆議院議員総選挙神奈川6区にて 79,281票で比例南関東ブロック当選（惜敗率98.8%）
- ・2024年総務大臣政務官に就任
- ・自民党では無派閥で活動
- ・自民党 2027 横浜国際園芸博覧会（花博）推進特命委員会 事務局長
- ・保土ヶ谷区スポーツ協会 顧問 ・旭区サッカー協会 顧問
- ・希望ヶ丘高校同窓会「桜蔭会」理事・2018年横浜マラソン完走（5時間8分）

自由民主党神奈川県第六選挙区支部  
 〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘 199-1  
 TEL: 045-391-4000 FAX: 045-366-9700  
 E-mail: jm@furusakawa2002.com

【古川なおき公式×】 【古川なおき公式Line】

